

稲作農家との青空意見交換会

9月9日報道の21年県産米概算金目安がコロナ禍の影響もあり過去最大の下げ幅になったことをうけ、9月11日（土）、衆議院議員津島淳代議員と稲作農家の方々と青空意見交換会を開催しました。

出席した農家の方々から、活発な意見・要望をだしていただき、私自身も非常に学ばせていただきました。

後日、津島事務所からの連絡で、農家の声をしっかり農政局へ届けると約束していただきました。



岩木山観光協会視察

7月15日（木）弘前方面所要の際、岩木山観光協会も視察してまいりました。

同協会は、岩木観光物産案内所を運営し、更には今春から【おそばとモツ青葉】も営業しております。

【おそばとモツ青葉】では、蕎麦やラーメンの食べられる食堂に加え、テイクアウトの味付けモツ（冷凍）も販売しております。

弘前市から助成金をいただきながらの運営ではありますが、同協会が自らの利益のためにと志を持って運営しているとのことでした。

平内町観光協会もこの活動を参考として、行政頼みから脱却した独自性を持った団体を目指すべきではないでしょうか。



令和三年第三回議会定例会一般質問

「飲食店等への支援を要望する」

▶ 答弁/ 10月上旬から受付できるようにすすめる

田中大

聞き取り調査などによれば、町内でコロナウィルス感染症の影響を大きく受けているのは、飲食サービス関連業種と認識しております。

県では7月26日から『青森県中小企業者等事業継続支援金』の給付受付を実施しており、法人及び個人事業の中小企業者等に対し、前年比30%以上の減収であれば、法人に60万円、個人事業主に30万円給付するものであります。

コロナウィルス感染症の影響を大きく受けている飲食サービス関連業種に、県継続支援金と同じ対象規定として、法人に20万円、個人事業主に10万円を給付してはいかがでしょうか。

また、申請についても、県支援金の決定通知書の写しを添付することで簡素化が図られ、申請者にとっても負担軽減が図られますので、申請方法についての考え方についても、併せてお伺いします。

町長

7月に商工会から小規模事業者を支援してほしいとの要望を受け、今定例会に『平内町事業者等継続支援金』を計上したところであります。また、申請にかかる手続きも先に始まった県の制度の申請内容を利用し、簡素化を図ることとしております。

田中大

支援金額10万円で申請者を100人見込んでいるとのことでした。もし、これを超えた場合、それらの事業者を救済すべく12月定例会補正で対応して下さいますようお願いいたしまして質問を終わります。



町政へのアイデア、ご提案、ご要望募集中!

皆様から頂いたお声は、議会での質疑や担当課へ直接要望するなど、責任をもって町へ届けます!

電話 017-763-0170 FAX 017-755-4295 携帯 090-3125-8752

メール tanakada_0525@yahoo.co.jp

※この新聞は後援会討議資料です

TANAKA DAI
INFORMATION

平内町議会議員

第20号
増大号
20号
2021年10月00日発行

田中だい通信

さらに前進!明日に取り組む!未来を創る!

20号を迎え、また一步!着実に皆様の声を行政へ届けます

目次

- 1.総務福祉調査報告
AOMORI政治塾入門
- 2.選挙投票喚起
- 3.ご指導頂いている先生の紹介
- 4.農家の皆様との対談
観光協会視察
- 5.飲食店支援を!一般質問

夢も希望も大!

スローガンのもと、取り組んでいる内容をご紹介します



総務福祉常任委員会所管事務調査報告

日時：令和3年7月16日（金）8時15分～ 場所：平内町役場3階議会控室、むつ市(株)青森クリーン
 案件：生活環境行政について

《報告》

ボランティア活動などにより回収された町の海岸漂着ごみのプラスチック類は、令和3年度よりむつ市の(株)青森クリーンへ処分を委託している。これは、外の沢埋立地が残余埋立容量がひっ迫してきたためである。

回収された漂着ごみは、外の沢埋立地で一時仮置として受け入れ、3週間ほど雨ざらしにしておく。その後、プラスチック類をフレコンバック（1トン程度の重量物を充填できる袋状の包材）の中に梱包するが、梱包作業は「就労サポートセンターはくちょう」に委託しており、その後フレコンバックを(株)青森クリーン最終処分場へ搬入し埋立処分している。



《感想》

今回の調査の趣旨は、プラスチック系海岸漂着ごみの処分についてということで、それなりに理解できたが、平内町では喫緊の問題である外の沢処分場の代替地を今年度、数か所に絞り選定することであり、平内町の新処分場建設に向けての勉強にもなりました。

再びAOMORI政治塾入塾

第2期に引き続き、第3期AOMORI政治塾の入塾が認められました。第1講座が9月4日（土）開催され、その様子が翌日の東奥日報にも掲載されました。

政治同志の方からは『また入塾するの?』とよく言われますが、まだまだ入塾して平内町発展のために学びたいというのが本音です。全ての講座が自分にとっては凄く為になるものです。平内の為に、今後も各種講義・講座を受けるとともに、現場の声に耳を傾けながら学び続けます。



お世話になっている代議士の紹介

走れJUN!津島淳

スローガンのもと、すぐに「はしる!!」
その姿勢をお届けします。



津島代議士には、常々、政治の基本、心得、いろはを教えて頂いております。いつも迅速な判断、的確な活動で、町議会議員として、私も町にこの姿勢を活かすために日々勉強しております。

青森の声を届けます!

自民党

つしま淳

第49回衆議院議員総選挙が行われます 投票に是非! 行きましょう!

衆議院議員総選挙ではありますが、小選挙区選挙と比例代表選挙が行われます。小選挙区選挙の投票用紙は、水色となり、候補者の氏名を書いて投票となります。また、比例代表選挙の投票用紙は、ピンク色となり、政党の名前を書いて投票となります。選挙権は私たちの代表を選ぶことのできる権利です。ご自身の意思表示のためにも棄権することなく投票願います。

なお、間違った記入は全て無効となりますので、お気をつけてお願いします。

衆議院議員選挙の投票方法

衆議院議員総選挙は、①小選挙区選挙と②比例代表選挙の2つからなります。また同時に行われる最高裁判所裁判官国民審査も同時に行われますので、3つとも投票して下さい。

②比例代表選挙（ピンクの投票用紙）

※個人名を書くとは無効になります

○ ○ 党

支持政党を記入

①小選挙区選挙（水色の投票用紙）

候補者氏名

青森太郎

候補者を記入

皆さんの投票で生活が変わります。

投票に行ってください、町政にも国政にも興味を持っていただければもっと良い未来が出来ます。